



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場会社名 東洋鋼板株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5453 URL http://www.toyokohan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 厚夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 宮地 正文 (TEL) 03-5211-6200
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	28,682	1.5	1,149	111.8	1,285	109.8	811	648.0
25年3月期第1四半期	28,258	△3.2	542	△59.3	612	△55.1	108	△87.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,392百万円(180.2%) 25年3月期第1四半期 497百万円(△47.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.06	—
25年3月期第1四半期	1.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	123,670	82,234	65.2
25年3月期	123,061	81,244	64.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 80,666百万円 25年3月期 79,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	2.5	2,100	34.9	2,200	34.9	1,400	107.1	13.90
通期	119,500	9.5	5,000	68.6	5,100	54.6	3,600	86.8	35.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	100,800,000株	25年3月期	100,800,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	48,526株	25年3月期	48,119株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	100,751,610株	25年3月期1Q	100,753,257株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、大胆な金融政策により円安や株高基調が続いており、製造業を中心とした企業収益に改善の兆しが見られる一方で、欧州の政府債務問題や中国経済の減速といった日本経済への下振れリスクが依然として潜在しており、先行きはやや不透明な状況のまま推移しました。

鉄鋼業界は、堅調な建設向けをはじめ内需の回復に期待がされるものの、アジア市場における需給緩和や諸外国との競争が激化するなど、厳しい状況が続きました。

このような状況下で当社グループは、3ヶ年のグループ中期経営計画「TK WORKS Beginning」を新たにスタートさせ、事業戦略の骨子である「グローバル市場への積極的な参入」と「新規事業の創出」に積極的に取り組むとともに、拡販やコストダウンによる既存事業の収益改善にも注力してまいりました。

以上の結果、売上高は286億82百万円となり、営業利益は11億49百万円、経常利益は12億85百万円、四半期純利益は8億11百万円となりました。

第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

売上高	286億82百万円（前年同期比 1.5%増）
営業利益	11億49百万円（前年同期比 111.8%増）
経常利益	12億85百万円（前年同期比 109.8%増）
四半期純利益	8億11百万円（前年同期比 648.0%増）

第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における事業別の概況は次のとおりです。

①鋼板関連事業

売上高	214億69百万円（前年同期比 3.6%減）
営業利益	5億32百万円（前年同期は24百万円）

<缶用材料>

缶用材料は、円安基調に伴い食缶用途で輸出が増加したものの、主力の飲料缶材が缶コーヒーの販売不振の影響により減少したことに加え、工業用缶材をはじめとする国内容器用途が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

<その他の材料－電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け>

電気・電子部品向けは、電池材はハイブリッド車用途の堅調な需要に支えられましたが、その他の用途で大きく減少したことにより、前年同期に比べ減収となりました。

自動車・産業機械部品向けは、燃料パイプ用途などは減少したものの、ベアリングシール用途などが増加し、輸出も好調に推移したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

建築・家電向けは、ユニットバス内装材や玄関扉材が新規拡販の成果により増加したものの、冷蔵庫扉材などが減少し、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、鋼板関連事業全体としては前年同期に比べ減収となりましたが、原価低減効果により増益となりました。

②機能材料関連事業

売上高	58億28百万円（前年同期比 26.0%増）
営業利益	4億68百万円（前年同期比 17.7%増）

＜磁気ディスク用アルミ基板＞

磁気ディスク用アルミ基板は、データセンター向け大容量ハードディスク用途の堅調な需要や円安基調に下支えされ、前年同期に比べ増収となりました。

＜光学用機能フィルム＞

光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場において着実に浸透し、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、機能材料関連事業全体としては前年同期に比べ増収、増益となりました。

③その他事業

売上高	19億63百万円（前年同期比 0.7%増）
営業利益	1億44百万円（前年同期比 24.9%増）

＜梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金＞

梱包資材用帯鋼は、販売数量が増加したものの販売価格が低下したため、前年同期に比べ減収となりました。

コイル結束装置などの機械器具は、主力の装置本体および部品の販売が低迷したことにより、前年同期に比べ減収となりました。

硬質合金は、主力の射出成形機部品が低迷したものの、プラスチック金型が堅調に推移したことにより、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、その他事業全体としては前年同期に比べ増収、増益となりました。

なお、各事業の売上高、営業利益は事業間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ6億8百万円増加して、1,236億70百万円となりました。このうち流動資産は現預金、たな卸資産は減少したものの、売上債権が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億97百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産は減少したものの、保有株式の時価の上昇による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加しました。

負債は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億80百万円減少して414億36百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億89百万円増加して822億34百万円となりました。これは利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期（累計）および通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

当社グループを取り巻く環境は、諸外国との競争の激化や諸資材価格の高騰など、今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、中期経営計画「TK WORKS Beginning」における目標の達成に向けて全力で取り組んでまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,306	18,955
受取手形及び売掛金	18,691	20,132
たな卸資産	25,358	24,677
その他	4,342	4,447
貸倒引当金	△309	△326
流動資産合計	67,390	67,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,137	16,006
機械装置及び運搬具（純額）	16,468	16,280
土地	11,943	11,943
建設仮勘定	1,313	1,416
その他（純額）	1,629	1,520
有形固定資産合計	47,493	47,166
無形固定資産	491	500
投資その他の資産		
投資有価証券	3,949	4,381
その他	3,750	3,746
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	7,687	8,115
固定資産合計	55,671	55,783
資産合計	123,061	123,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,011	11,379
短期借入金	16,072	16,118
未払法人税等	862	449
役員賞与引当金	56	—
その他	5,465	4,776
流動負債合計	33,468	32,722
固定負債		
社債	5,000	5,000
退職給付引当金	1,473	1,749
役員退職慰労引当金	22	24
PCB対策引当金	363	313
その他	1,489	1,626
固定負債合計	8,348	8,713
負債合計	41,816	41,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,040	5,040
資本剰余金	6	6
利益剰余金	74,987	75,395
自己株式	△20	△20
株主資本合計	80,013	80,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	842
為替換算調整勘定	△764	△597
その他の包括利益累計額合計	△201	244
少数株主持分	1,432	1,567
純資産合計	81,244	82,234
負債純資産合計	123,061	123,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	28,258	28,682
売上原価	24,965	24,865
売上総利益	3,293	3,817
販売費及び一般管理費	2,750	2,667
営業利益	542	1,149
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	44	73
為替差益	—	52
受取賃貸料	36	34
その他	62	60
営業外収益合計	156	234
営業外費用		
支払利息	52	46
その他	34	51
営業外費用合計	87	98
経常利益	612	1,285
特別損失		
投資有価証券評価損	384	—
特別損失合計	384	—
税金等調整前四半期純利益	228	1,285
法人税等	150	449
少数株主損益調整前四半期純利益	78	836
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△30	24
四半期純利益	108	811

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78	836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	279
繰延ヘッジ損益	55	—
為替換算調整勘定	304	277
その他の包括利益合計	418	556
四半期包括利益	497	1,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405	1,257
少数株主に係る四半期包括利益	91	135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,718	4,627	1,912	28,258	—	28,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	563	—	36	600	△600	—
計	22,281	4,627	1,949	28,858	△600	28,258
セグメント利益	24	397	115	537	5	542

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼板関連事業	機能材料 関連事業	その他事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,939	5,828	1,914	28,682	—	28,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	529	—	48	578	△578	—
計	21,469	5,828	1,963	29,261	△578	28,682
セグメント利益	532	468	144	1,145	4	1,149

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。